

平成 2 0 年度予算の拡充要求

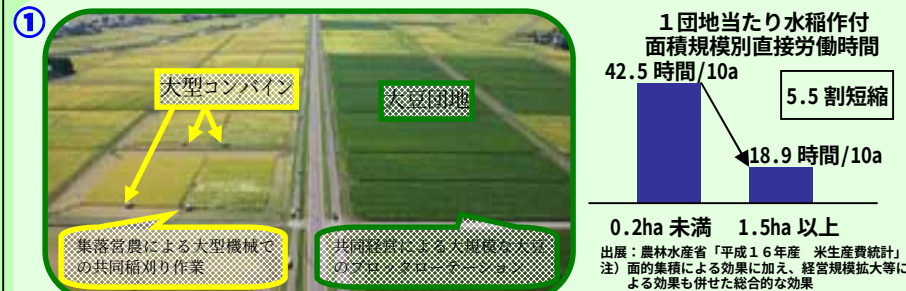
平成20年度 農村振興局予算概算要求の重点事項

1. 農政改革を推進するための基盤づくりの新たな展開

① 農地政策改革の推進

担い手への農地の面的集積（面的なまとまりを重視した担い手への農地の利用集積）を基盤整備事業と一体的に推進。

【農地集積加速化等基盤整備事業【公共】～新規～ 50億円】



② 耕作放棄地解消に向けた緊急的取組

耕作放棄地の発生防止・解消に向けた取組を緊急的かつ総合的に推進。

【耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業【公共】～新規～ 10億円】

【耕作放棄地利活用活動支援事業【非公共】～新規～ 5億円】

【農山漁村活性化プロジェクト支援交付金【非公共】～拡充～
⇒基盤整備を契機とした耕作放棄地解消・発生防止に対する支援の追加
⇒遊休農地解消に対するきめ細かな支援を追加 399億円の内数】

【農地・水・環境保全向上対策【非公共】～拡充～ 304億円の内数】



（耕作放棄地の解消）



（水土里情報システムのイメージ）

③ 農地情報の緊急的整備

担い手への農地の面的集積を効率的に実施するため、農地情報の整備を緊急的に実施。

【水土里情報利活用促進事業【非公共】～拡充～ 97億円】

2. 地域資源をいかした活力と潤いのある地域づくり

④ 魅力ある農山漁村づくりに向けた地域の創意工夫の後押し

都市と農山漁村の共生・対流に関する国民運動の促進、農村滞在型の農業体験活動施設・情報通信基盤施設の整備や、農村の協働力向上のための手法検討、「農山漁村生活空間」を保全・活用するモデル的取組等を支援。

【農山漁村地域力発掘支援モデル事業【非公共】～新規～ 17億円】

【賑わいある美しい農山漁村づくり推進事業【非公共】～新規～ 1億円】

【農山漁村活性化プロジェクト支援交付金【非公共】～拡充～
⇒宿泊体験活動受入拠点施設等の交付対象への追加
⇒農村のみちの整備に対する支援の追加 399億円の内数】

【村づくり交付金【公共】～拡充～ 392億円の内数】

【広域連携共生・対流等対策交付金【非公共】～拡充～ 11億円の内数】



（子ども達の宿泊体験活動）



（地域共同による農道の補修）

⑤ 農地・水等の資源や環境の保全に向けた新たな取組の推進

農地・農業用水等の資源や環境の適切な保全と質的向上を図るため、地域共同の効果の高い取組等を支援する農地・水・環境保全向上対策及び基幹的水利施設の保全を着実に推進。

【農地・水・環境保全向上対策【非公共】～継続～ 304億円】

【農地・水・環境保全向上対策の評価に関する検討調査委託【非公共】～新規～ 0.2億円】

【ストックマネジメント技術高度化事業【公共】～新規～ 18億円】



（地域住民と連携した生態系の保全）



（都市部の農産物直売所）

⑥ 中山間地域等直接支払制度の更なる推進

中山間地域等において農業生産活動の継続による多面的機能が確保されるよう、限界的集落等への支援や災害防止に係る加算措置を創設するとともに、要件の見直しにより交付の対象となる農用地を拡大。

【中山間地域等直接支払交付金【非公共】～拡充～ 234億円】

⑦ 都市農業の振興

都市住民のニーズ等を踏まえ、都市農業の振興及び都市農地保全のためのモデル的取組や、農産物直売所等の施設整備を支援。

【広域連携共生・対流等対策交付金【非公共】～拡充～ 11億円の内数】

⑧ 安全で安心して暮らせる農村づくり

頻発する災害に対応した広域的な防災体制の確立を促進し、被害を受けた地域の総合的なコミュニティ復興対策を行う新たな仕組みを構築するとともに、深刻化する野生鳥獣による被害に効率的な対応ができるよう鳥獣害対策を強化。

【広域防災ため池等整備モデル事業【公共】～新規～ 1億円】

【農村災害対策整備事業【公共】～新規～ 1億円】

【中山間地域総合整備事業等における鳥獣害対策の支援強化【公共】～拡充～ 435億円の内数等】

3. 農山漁村からの地球環境問題への対応

⑨ バイオマス利活用の推進

バイオマス利活用の推進に向け、バイオ燃料の導入やバイオマスタウン構築の加速化を支援。

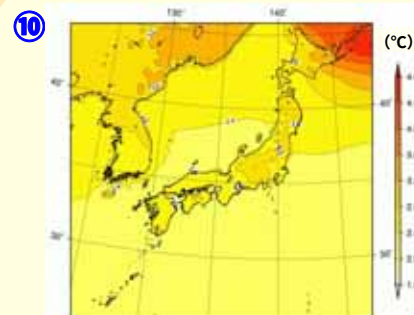
【ソフトセルローズ技術確立事業【非公共】～新規～ 41億円】

【バイオマスタウン形成促進支援調査事業【非公共】～拡充～ 4億円】

⑩ 地球温暖化により懸念される干ばつや洪水への着実な対応

地球温暖化の進行に伴い、干ばつや洪水などの影響が想定されることから、その影響を評価し、必要となる適応策を検討。

【気候変動に伴う農業生産基盤に関する適応策検討調査【公共】～新規～ 1.5億円】



（地域気候モデルによる温暖化予測）



（生物多様性の保全）

⑪ 生物多様性の保全

地域の生物多様性の保全・向上の観点から、これに対応した基盤整備を行うとともに、地域住民・農業者が一体となった農業水利施設の維持・保全管理を実現するため、環境用水などの新規取得等を支援。

【地域水ネットワーク再生事業【公共】～新規～ 3億円】

【生物多様性対応基盤整備促進パイロット事業【公共】～新規～ 2億円】

中山間地域等直接支払交付金 (拡充)

1. 趣 旨

耕作放棄地の増加等により多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、多面的機能を確保するとの考えの下で、より高度な多面的機能の発揮により、地域の活性化及び生活の安全・安心の確保を図るため、以下のとおり事業内容を拡充する。

2. 事業内容 (拡充内容)

(1) 限界的集落等支援加算の創設

本制度に取り組んでいる集落（協定集落）が、高齢化等により維持・存続が危ぶまれる集落（限界的集落）等を支援するため、限界的集落等の農業者等に代わって集落内の農道、水路、法面等の管理を実施する場合の「限界的集落等支援加算」を創設。

(2) 災害防止加算の創設

地すべり防止区域等災害の危険性が特に高い地域における生活の安全・安心を守るため、農用地防災マップの作成、ほ場・農道・水路等の定期点検等災害の種類に応じ、これを未然に防止するための取組や防災意識の向上による減災のための取組を実施する場合の「災害防止加算」を創設。

(3) 対象農用地の拡大

耕作放棄の大半が1ha未満の小規模農地でスプロール的に発生している現状を踏まえ、交付の対象となる農用地の要件を見直し、より実効性のある耕作放棄の発生防止により多面的機能の維持・増進を図る。

3. 事業実施主体等

(1) 事業実施主体：中山間地域等の市町村

(2) 補 助 率：定額

(3) 事業実施期間：平成20年度～平成21年度（拡充内容についてのみ）

4. 平成20年度概算要求額（平成19年度予算額）

23,100,000（21,800,000）千円

【担当課(室)：農村振興局 地域整備課 中山間整備推進室】

中山間地域等直接支払交付金（拡充）

中山間地域の現状と現行対策の課題

現 状

- 中山間地域等を巡る諸情勢は依然として厳しい将来に向けた農業生産活動等の見通しも不透明
- 耕作放棄地の発生防止、集落機能の活性化等、一定の成果を上げており、継続的な実施に期待

課題

- より高度な多面的機能の確保のために
- 条件の厳しい地域への対応
- 災害対策への対応
- 耕作放棄発生防止への対応

地域の活性化及び生活の安全・安心の確保のための対策強化

中山間地域等において、農業生産活動の継続による多面的機能が確保されるよう、限界的集落等への支援や災害防止に係る加算措置を創設するとともに、要件の見直しにより交付の対象となる農用地を拡大。

○ 中山間地域等の緊急的な課題

[条件の厳しい地域への対応]

地域の合意により、守るべき限界集落を支援するインセンティブを高め、中山間地域のより条件の厳しい地域を守ることが必要

[災害対策への対応]

土砂災害等の災害を未然に防止するとともに、防災意識の高まりを通じて災害が発生した場合の被害を減少させることが必要

[耕作放棄発生防止への対応]

小規模農家を対象にして、より実効性の高い耕作放棄の発生防止を行うことが必要

(課題に対応するための拡充)

- 限界的集落等支援加算の創設
限界的集落等の農業者等に代わって実施する農道等の管理に支援

- 災害防止加算の創設
地すべり防止区域等災害の危険性の高い地域での災害防止等の取組に支援

- 対象農用地の拡大
耕作放棄の発生防止を図るため対象農用地を拡大



管理された棚田



防災意識の高まり



耕作放棄の発生防止

中山間地域等における多面的機能の維持・増進